

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2013. 8. 5

下水道機構の『新技術情報』 第103号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

先週は下水道展へご来場いただきました皆さま、ありがとうございました。機構のブースはいかがでしたでしょうか？ブースでお配りした「うんちくん風船」は、子どもさんだけでなく大人にも人気がありました♪

それでは、機構メールマガジン『新技術情報』第103号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

※来週のメルマガはお休みいたします

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・下水道展 ‘13 東京へ出展しました
- ・7/23(火)に「第4回高知県下水道地震・津波対策委員会」が開催されました

■機構の動き

- ・今週は、特に予定はありません

■Tea Break

- ・式年遷宮（しきねんせんぐう） —技術の伝承と「木の文化」—
(小山事務局長からの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・まる子はお出かけのためお休みします

■国からの情報

- ・8月2日付、下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●下水道展 ‘13 東京へ出展しました

2013年7月30日(火)~8月2日(金)の4日間、東京ビックサイトにおいて下水道展が開催され、当機構も出展しました。期間中は多くの皆さまにご来場いただきまして、ありがとうございました。

※機構ブースの様子はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/下水道展13> 東京

●7/23(火)に「第4回高知県下水道地震・津波対策委員会」が開催されました

今回の委員会では、第3回委員会における委員や市町村の方々から挙げた意見や要望を反映した地震・津波ガイドライン（以下、ガイドライン）について、さらなるブラッシュアップを行うべく、闊達な議論がなされました。

また、今回は、委員会に合わせて、県内下水道施設の災害時支援協定締結式がとり行われ、①県内自治体（県・市町村17団体）間の相互支援協定、②処理場・ポンプ場の災害時支援協定（日本下水道事業団と県・市町村17団体の災害時支援協定）、③管路の災害時支援協定（日本下水道管路管理業協会と県・市町村17団体の災害時支援協定）の3つの協定が締結されました。

これは、上記地震・津波対策委員会の中で、大規模地震に備えるため、ソフト対策の一環として災害時支援協定が必要といった意見を踏まえ取り組んできたもので、県内の下水道台帳の保管（バックアップ）等、災害時において非常に有用なものとなっています。

今回の委員会の内容については近日中に高知県のHPに掲載予定です。（前回委員会の内容は以下のアドレスをご覧ください。）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/171801/dasankaikouchikenngesuidoujishinntunamitaisaku.html>

また、次回の委員会（最終委員会）は10月中旬頃に予定されており、ガイドラインの完成に向けて議論頂く予定です。

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●今月は特に予定はありません

。○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○。

●式年遷宮（しきねんせんぐう） —技術の伝承と「木の文化」—

（小山事務局長からの投稿です）

伊勢神宮で20年に一度、社殿を建て替え、御装束・神宝（調度類）も新たに造り替えて、神さまにお遷りいただく日本を代表する稀有な伝統行事「式年遷宮」が8年前から様々な祭典・行事を積み重ねてきたが、いよいよこの秋最終章を迎える。

1300年以上の長きにわたり、時代の荒波をこえて連綿と受け継がれて来た祭りであるが、なぜ20年に一度行われるのか？諸説あるようだが、当時の50年に満たない人の一生を考え、伝統工芸の優れた技術や信仰を伝承するにはそれが精一杯の年限だったとする説が有力のようだ。

復旧済みですが、山口県津和野町で末端管きよの一部が道路の損壊により被災した事例、新潟県長岡市で鉄砲水により道路が損壊しマンホールが被災した事例が報告されています。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○「下水道広報に関する会議」の開催について（結果報告）【下水道企画課】

○「下水道事業の手引 平成 25 年版」が完成しました【下水道事業課】

○「開発途上国における都市排水マネジメントと技術適用に関する研究」ワークショップの開催について【土木研究所】

●大分七夕まつりで打ち水を実施します【大分市】

○「下水道広報に関する会議」の開催について（結果報告）【下水道企画課】

国土交通省下水道部と下水道情報プラットフォーム（GKP）は7月9日（火）、地方公共団体等における下水道の広報をより充実・発展させていくことを目的に、大阪市にて下水道広報に関する会議を開催いたしました。近畿、中国地方から10都市が参加し、先進自治体の取組を共有すると共に、広報のプロからのアドバイスも頂きながら、下水道広報の課題や効果的な手法などについて熱心な議論が交わされました。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000287.html

○「下水道事業の手引 平成 25 年版」が完成しました【下水道事業課】

①「防災・安全交付金」を創設

②管路施設の緊急老朽化対策事業を創設

③制度変更を詳細に解説、内容もさらに充実!!

平成 24 年度補正予算及び平成 25 年度予算では、東日本大震災の教訓と将来予測されている首都直下型地震や南海トラフ巨大地震などの震災に備えるため、社会資本整備総合交付金制度に新たに「防災・安全交付金事業」が創設されました。また、本年1月に閣議決定した、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を踏まえ、下水道の老朽化対策として、設置から50年以上が経過した管渠について、緊急かつ集中的に点検、改築等の必要な対策を講じるため「緊急老朽化対策事業」が創設されました。

今回発刊する平成 25 年版では、こうした制度変更や、「強靱」な下水道の構築を後押しするため創設された各種事業について詳細に解説するとともに、下水道関係者が事業を行ううえで知っておくべき事柄を、平成 24 年版の発刊以降に出された通知等も加えて刷新しています。

（みなさんは手引の表紙のデザインを意識して見たことはあるでしょうか。今回の魚の絵をよ〜く見てみてください。何か見えませんか？この手引を見て仕事をしているみなさんが下水道事業を支えています。下水道の発展のため、これを見てまた頑張っていただけたらと思います。バイバイ！（ちなみに24年度版の表紙にも何かが隠れています。こちらは超難問！？）

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2013/06/post_51.html

○「開発途上国における都市排水マネジメントと技術適用に関する研究」ワークショップの開催について【土木研究所】

土木研究所材料資源研究グループでは、土木研究所重点研究「開発途上国における都市排水マネジメントと技術適用に関する研究」(2011-2015)の中間年を迎え、これまでの研究成果及び他機関で取り組まれている関連事業や研究事例に関する発表と参加者による意見交換を行うことにより、開発途上国における都市の水質環境問題解決に関する現状と課題を明らかにし、共有することを目的にワークショップを開催いたします。

ご関心ある方は是非ともご参加願います。

- ・主 催：独立行政法人土木研究所 材料資源研究グループ
- ・期 日：8月30日(金) 14:00~16:30
- ・場 所：独立行政法人土木研究所 ICHARM 棟 1階講堂
- ・申し込み：要事前申し込み

プログラム、申し込み方法等の詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2013/0830/wsprogram.pdf>

(独立行政法人土木研究所材料資源研究グループリサイクルチーム)

●大分七夕まつりで打ち水を実施します【大分市】

8月2日(金)午後6時30分から大分中央通り47万人の広場にて、大分市下水道部主催の「府内打ち水大作戦」を実施します。地球温暖化対策、地域コミュニティの再生など、さまざまな効果をもたらす呼び水として大分七夕まつりのオープニングの前に市民500名とともに、弁天水資源再生センターでオゾン処理した再生水を使い実施致します。今年で4回目の開催となり、当日はバケツとひしゃくを無料配布します。

<https://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1370395882661/index.html>

=====

【参考情報】

◆水害防災マップを独自に作製 諏訪市湖南地区<7/25 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=29048>

◆家庭用雨水貯留タンク 設置費用を助成 たつの市<7/26 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/seiban/alacarte/201307/0006194832.shtml>

◆下笠ダム:水質改善に曝気循環 気泡でアオコ除去期待 /大分<7/30 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/oita/news/20130730ddlk44040548000c.html>

◆金沢市企業局 下水道PRビデオ GKPグランプリ受賞 「わたしとトイレと女神さま」<7/31 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/ishikawa/20130731/CK2013073102000038.html>

◆迷惑施設が宝生む 佐賀市下水浄化センターの試み<下>経費減やメタンガス発電工夫次々 委託超えた連携 力に<7/31 西日本新聞>

http://www.nishinippon.co.jp/feature/life_topics/article/30172

◆「安全度マップ」活用し備えを 大雨被害に知事 長浜市<7/31 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20130731/CK2013073102000009.html>

(編注) 記事、下水処理場で浸水とありますが、農業集落排水施設の誤りです。

◆中・下越豪雨、長岡79棟床上浸水<7/31 新潟日報>

<http://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20130731057981.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
